

2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	34,650	△6.8	1,078	△37.1	1,027	△43.7	580	△72.1
2018年12月期第3四半期	37,181	4.8	1,715	8.9	1,826	12.1	2,081	128.8

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 △169百万円 (—%) 2018年12月期第3四半期 2,841百万円 (101.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	36.98	—
2018年12月期第3四半期	132.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	52,997	21,565	36.7	1,237.94
2018年12月期	56,597	23,565	35.6	1,283.02

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 19,458百万円 2018年12月期 20,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2019年12月期	—	8.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△4.4	1,600	△30.5	1,600	△34.2	1,000	△59.3	63.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 3 Q	17,710,000株	2018年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 3 Q	1,991,260株	2018年12月期	2,016,149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 3 Q	15,707,118株	2018年12月期 3 Q	15,690,310株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部では消費税増税前の駆け込み需要の影響も見られたものの、米中貿易摩擦を起点とした世界経済の減速懸念から製造業を中心に下押し圧力がかかるなど、景気先行きに不透明感が強まっております。また、世界的な環境規制の強化、化学品規制の動向、金融資本市場の変動、原油価格の変動など、当社グループを取り巻く環境は引き続き注視が必要な状況が続いております。

このような中、当社グループは、永続的成長に向けて2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、2019年度を最終年度とする当中期経営計画期間を「改変期」とし、3つの全社経営戦略（「イノベーションの推進」「グローバルネットワークの強化と拡大」「『勝ち続ける』経営基盤の構築」）のもと、激変する経営環境に左右されない強固な経営基盤の構築を図っているところであります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は346億5千万円（前年同期比6.8%減）、営業利益10億7千8百万円（同37.1%減）、経常利益10億2千7百万円（同43.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億8千万円（同72.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(化学品事業)

売上高は254億7千4百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益は11億2千1百万円（同26.4%減）となりました。

ベトナムや南西アジアにおける市場開拓、業務用クリーニング薬剤の販売が堅調に推移した一方、主力である繊維加工用薬剤は、暖冬や米中貿易摩擦、中国環境規制などの影響により中国を中心に需要が伸び悩みました。

また、アジア通貨に対する円高の影響、特定原料価格の値上がり、鹿島工場における減価償却費の増加により、化学品セグメント全体では売上高及びセグメント利益ともに減少しました。

(化粧品事業)

売上高は83億1千1百万円（前年同期比19.5%減）、セグメント利益は11億9千9百万円（同27.2%減）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいて、国内美容サロン業界全体の伸び悩みの影響を受けたものの、主力ヘアケアブランドの拡販によりヘアケアカテゴリーを順調に伸ばすとともに、新商品が堅調に推移したことと消費税増税前の駆け込み需要もあり、国内サロン向け化粧品の販売が増加いたしました。

一方で、子会社のDEMI KOREA CO., LTD. が韓国市場環境の影響を受け売上高は減少となり、山田製薬株式会社における化粧品製造受託事業において大口顧客の市場在庫の影響を受け大幅に売上減となったことから、化粧品セグメント全体では売上高及びセグメント利益ともに減少しました。

(その他事業)

売上高は8億6千4百万円（前年同期比32.7%増）、セグメント利益は9千9百万円（同172.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、36億円減少し529億9千7百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が11億7千4百万円増加したものの、現金及び預金が32億8千5百万円、受取手形及び売掛金が14億9千5百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、16億円減少し314億3千2百万円となりました。この主な要因は、借入金が19億8千万円増加したものの、支払手形及び買掛金が25億7千8百万円、未払法人税等が2億3千1百万円、賞与引当金が3億5千8百万円、退職給付に係る債務が1億9千3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、20億円減少し215億6千5百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が7億2千5百万円、非支配株主持分が13億2千3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,234	5,949
受取手形及び売掛金	10,363	8,868
商品及び製品	4,314	4,796
仕掛品	1,055	724
原材料及び貯蔵品	3,458	3,249
その他	1,003	1,107
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	29,422	24,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,697	13,907
機械装置及び運搬具（純額）	2,446	3,783
土地	5,209	5,216
その他（純額）	3,409	2,030
有形固定資産合計	23,762	24,937
無形固定資産		
のれん	9	3
その他	459	366
無形固定資産合計	468	370
投資その他の資産		
その他	2,945	3,001
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	2,943	3,001
固定資産合計	27,175	28,309
資産合計	56,597	52,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,548	3,970
短期借入金	9,826	10,947
未払法人税等	443	212
賞与引当金	768	409
その他	3,398	3,149
流動負債合計	20,986	18,689
固定負債		
長期借入金	8,055	8,915
退職給付に係る負債	2,947	2,754
株式報酬引当金	69	72
その他	974	1,000
固定負債合計	12,046	12,742
負債合計	33,032	31,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	3,054	2,903
利益剰余金	15,445	15,738
自己株式	△1,476	△1,456
株主資本合計	19,921	20,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	253
為替換算調整勘定	△16	△741
退職給付に係る調整累計額	△188	△137
その他の包括利益累計額合計	213	△625
非支配株主持分	3,429	2,106
純資産合計	23,565	21,565
負債純資産合計	56,597	52,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	37,181	34,650
売上原価	25,057	23,288
売上総利益	12,124	11,361
販売費及び一般管理費	10,409	10,282
営業利益	1,715	1,078
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	43	23
持分法による投資利益	39	32
助成金収入	31	20
その他	117	171
営業外収益合計	269	286
営業外費用		
支払利息	51	50
為替差損	18	189
売上割引	67	66
その他	21	32
営業外費用合計	158	337
経常利益	1,826	1,027
特別利益		
固定資産売却益	3,593	9
投資有価証券売却益	—	2
負ののれん発生益	—	23
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	32	—
退職給付制度終了益	—	135
補助金収入	143	33
特別利益合計	3,769	205
特別損失		
固定資産除却損	4	8
固定資産売却損	0	1
投資有価証券評価損	1	—
減損損失	—	15
特別損失合計	6	25
税金等調整前四半期純利益	5,589	1,207
法人税等	2,270	469
四半期純利益	3,319	738
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,238	158
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,081	580

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,319	738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	△165
為替換算調整勘定	△419	△794
退職給付に係る調整額	24	51
その他の包括利益合計	△477	△908
四半期包括利益	2,841	△169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,638	△258
非支配株主に係る四半期包括利益	1,203	89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,209	10,320	36,530	651	37,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	3	3	188	191
計	26,209	10,324	36,533	839	37,373
セグメント利益	1,523	1,648	3,172	36	3,208

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,172
「その他」の区分の利益	36
セグメント間取引消去	△20
全社費用（注）	△1,473
四半期連結損益計算書の営業利益	1,715

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,474	8,311	33,786	864	34,650
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	2	2	173	175
計	25,474	8,313	33,788	1,037	34,826
セグメント利益	1,121	1,199	2,321	99	2,420

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,321
「その他」の区分の利益	99
セグメント間取引消去	△0
全社費用（注）	△1,341
四半期連結損益計算書の営業利益	1,078

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「化学品」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間に移転を決定した建物については、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額15百万円を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該資産の回収可能価額は他への転用及び売却の可能性がないことから、その価値を零としております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

「化粧品」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間に株式会社レラコスメチックの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上は、当第3四半期連結累計期間においては23百万円であります。